愛知県高齢者生活協同組合　２０２０年

たより

8　月

第２２０号

＜発行＞愛知県高齢者生活協同組合・本部事務局
〒４６０－００２１　名古屋市中区平和２－２－３６
電　話　０５２－３３１－４８５３　　FAX　０５２－３３１－２７３５
ホームページ　https://aichikoreikyo.web.fc2.com/

●もくじ●

総代会特集号

第２４回通常総代会開催・・・・・・1
総代会の発言要旨、今月のうた・2～4
永年勤続表彰、新役員体制・・・・・5
みんなの家ぬくもりを支える会・・・6
新人研修開催、かんたん料理・・・・7
２０２０年度日程・・・・・・・・・8

地域福祉の総合化・複合化を実現する年に

～新規事業の建設を高齢協の次世代へのステップにしよう！～

六月二八日（日）午後一時三〇分より、へいわ会館三階 地域交流室にて、第二四回通常総代会を開催。今回は新型コロナの感染拡大防止に鑑み、総代は書面議決での行使を中心とするかつてない少人数での総代会となり、総代九八名（実出席六名、書面議決九二名）役員一八名が出席し、二〇二〇年度の全議案が賛成多数により可決・採択されました。

挨拶に立つ長谷川理事長。今年度の活動について、社会情勢にもより関心をもって取り組もう、と語られる。

冒頭、長谷川理事長が挨拶に立ち、来年四月開所の「みんなの家ぬくもり（春日井市牛山）」建設に向けた組合債の取り組みにふれ、「組合員皆さんの協力のおかげで五千五百万円の目標額を超過達成」できたことへの感謝が伝えられるとともに、「次の課題である人材確保・育成に向けて残り一年足らずの間に全精力を挙げて取り組もう」と呼びかけられました。さらには、新型コロナウイルスの問題では、罹患し生還したイギリスのジョンソン首相が「社会はまさに存在する」と発言したことを紹介。サッチャー時代から企業利益を優先し、社会保障をコストと考えて削減する「新自由主義」に染まってきた国が、「人間社会は利益追求だけではだめだ」という意識に変わってきていると述べ、今の資本主義はもう限界にきていると言及されました。その上で愛知高齢協の組合員、特に福祉に携わる職員にむけて「仕事は大変と認識しているが、もっと社会のことに関心を持ち、これ以上の社会保障の削減を止めさせるためのたたかいをしていかなければならない。」と語られました。

その後、藤井専務理事より議案提案がされ、人々が集い、助け合いを育んでいくことがまさに協同組合の良さ。今、コロナ禍の中でこの行為が制限されているが、大変な時期だからこそ皆さんの知恵を出し合い、工夫を凝らして高齢協の価値を示していこうと呼びかけられ、「ＳＤＧｓの考え方」に立ち、「地域と結びついた事業の総合化・複合化」をベースに、事業高三億六千五百万円、組合員二七〇〇人を目指していこうと提起されました。

総代会の発言要旨

総代会は、コロナ禍の中、書面議決による出席が九二名となりましたが、当日の運営は、実出席の代議員六名と一七名の役員の参集で行われました。また二〇二〇年度の方針を双方向で意思決定していくための工夫として事業所拠点ごとにリモート環境を整え、オンラインでの参加・発言が行えるようにしました。実出席の代議員三名及びWEB参加の代議員五名の発言の要旨を紹介します。

実践のヒントが発見できるリーダー基礎研修は事業所の方にこぞぜひ参加してほしい

事務局・加藤　美紀

普段は総務的な仕事を担当していて今年で４年目に入るが、昨年度は労協リーダー基礎研修に参加させてもらった。そこで、協同労働で働くということと、株式会社で働くことどう違うのかよくわからなかった部分が、研修を通して理解できた。利潤追求の企業であっても現在は皆、社会活動を重視している中にあって、協同労働との大きな違いはなにかというと、企業は「売れるサービス」を創業者の得意分野で仕事を起こすが、協同労働は「地域のニーズ」を働く人が対等、平等な立場で話し合って決定し主体的に働くことでそれぞれの視点を持ち始め、話し合って解決することで成長していける。リーダー研修には、日頃現場の体制に気を使っている職員にこそもっと参加してほしい。様々な事業所の実践を実際に見たり、そこに来ている人たちと交流することで、自分の職場を客観視でき、実用的なヒントや情報が得られ、出会った仲間たちを知って、自分たちも頑張れる、という励みになる。また、研修に参加する職員がいる事業所ではみんなで応援してあげてほしい。リーダー研修に参加した私の成長も認めてもらえるように今後も頑張りたい。

学習会や話し合いを重ね　ますます複合化の夢膨らむ

春日井ぬくもり・余語　恵美子

一昨年の秋祭りから始まったかかしカフェに、皆勤で参加してくださるＦさん夫婦は、これをきっかけにデイサービスを利用するようになって、認知症の改善にもつながっている。今年は新型コロナの影響で休止が続いている。小規模多機能型居宅サービスの候補地が見つかり、春日井市の選定を得られたのは、今まで二〇年間のぬくもりの成果が結びついたもの。この間の実績の上に加えて複合化を充実させ、協同労働の礎を築くもの。職員が個々に責任をもって役割を果たしたい。

組合債目標額達成のお礼

高齢者生活協同組合では、「小規模多機能型居宅介護サービス・みんなの家ぬくもり（春日井市牛山）」の立ち上げに向けて、組合債に取り組んできました。６月３０日までに、目標額を超過達成し、組合債５９３１万円、加入・増資に１３１万６千円の申し込みがありました。多くの組合員のみなさまのご協力に厚くお礼を申し上げます。

工事の状況につきましては今後も、たよりで進捗をご報告してまいります。

みんなで工夫して感染予防！ コロナもばねに、事業所を盛り上げよう

守山あまこだ・高須　円

あまこだ全体としてはすべての事業で目標をほぼ達成できた。ケアマネは安定したケアプラン数を維持、ヘルプ、デイともに目標達成、サ高住は名古屋市の調査を受けて見直しを諮り、移送のサービス向上に努めている。新型コロナウイルス対策も各部署で協力し、地域交流室の活動休止、インターホン対応による部外者との接触制限、入居者と地域のデイ利用者のフロアを分ける、訪問では公共交通機関による移動支援を自粛するなどの対応など感染予防に注意を払っている。歌声喫茶は七月から復活。新入職員も迎えて、コロナをばねにさらに活気ある事業所を目指す。

アメブロやインスタで楽しくアピール！

岡崎かけはし・中原　桜

かけはしデイでは、利用者の入院や新型コロナによる利用自粛で減少傾向だったが、６月には回復が見えた。以前からアメーバブログをやってきたが、今年からインスタグラム、通称「インスタ」を始めた。写真を投稿できるアプリで「デイサービスは年寄りや病人が行くところ」というイメージを楽しい写真で払しょくしたい。月に一回、芸術の日があり、皆さんに絵をかいてもらうが、だんだん絵が上達していくのが楽しい。

kakehashiokazaki
のアカウントでやっています。

七月から再開した花＊はなカフェに期待！

岡崎かけはし・永田　昌子

昨年一二月からオープンした花＊はなカフェは、季節の花をたくさん飾って、気軽においしいコーヒーでも楽しめたらいいな、と思って始まった。かけはし祭りやごまんぞく体操で知り合ったり、利用者さんやその家族などが参加してくださっている。要支援や障がいのある方にも手伝ってもらえるようにしていきたい。デイサービスの作品紹介や、祭りで好評だった手作り梅干しもカフェで販売をしていく予定。

今月のうた

おたまじゃくしは蛙の子

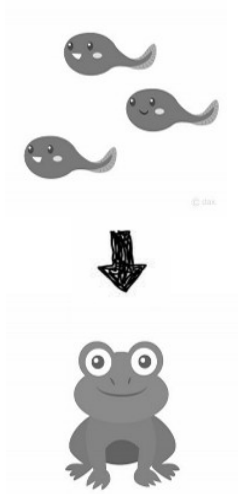
永田哲夫作詞・アメリカ民謡

おたまじゃくしは　蛙の子
なまずのまごでは　ないわいな
それがなにより　証拠には
やがて手が出る　足が出る

でんでんむしは　かたつむり
さざえのまごでは　ないわいな
それがなにより　証拠には
つぼやきしょうにも　ふたがない

かぜにゆらゆら　すすきのほ
ほうきのまごでは　ないわいな
それがなにより　証拠には
すすきでどらねこ　どやされぬ

たこ入道は　やっつあし
いかのあにきでは　ないわいな
それがなにより　証拠には
いかにはちまき　できやせぬ



初任者研修開講で、ヘルパーの育成を！
ケアセンターほみ・上江洲　恵子

ほみでは初任者研修が六月六日から始まっている。最初のほみの初任者研修はリーマンショックから始まった。私自身もその第一期生だった。コロナ禍によって、仕事を失った人たちがこの講座を受けたいと一一人も集まった。日本人二人、ペルー人、ブラジル人等が九人という構成で、うち男性は三人、年齢も二八歳から七五歳までと幅広く、受講生は訪問介護利用者の家族だったり、もともと働いていた職員や、その家族が多くなっている。その受講中の七五歳の職員は、自動車部品の工場や通訳の仕事をしていた。一時病気をしてブランクもあったが、本人は働くことが大好きで、ヘルパーとして頭と体が許す限り働き続けたいと言っている。今後も現場でいいヘルパーを育てていけるよう頑張りたい。

選ばれるデイサービス、共生型サービス事業所を目指して
一宮まったり・吉田　美紀

年の始めに管理者の交代はあったが、選ばれるデイサービスを目標に、共生型サービスの指定も受けたことを積極的に広報活動し、まずはまったりを知ってもらう努力をしたところ、次第に問い合わせが増え、新規契約につながった。ケアマネさんや相談員さんの依頼の背景もくみ取るように努めている。利用者さんで、家庭での衣類の洗濯に問題があり、ご家族（男性介護者）とうまくいっていない案件があったが、その洗濯ものをまったりの助け合い活動として有料にて引き受けたことで、ご家族の負担が減り「助かった！」と喜ばれている。その間現場の職員の手を借りることも増えるが、コミュニケーション第一で相談しあい、コロナで外出機会も減っているけれど笑顔の絶えないデイサービス、愛のある介護者であるよう、チーム力で頑張る。

春日井ぬくもりの新たな発展に喜び
みんなの家ぬくもり・支える会／立松　暁一

私は介護保険が始まった二〇年前に町屋町で春日井ぬくもりを立ち上げた。そこから今の朝宮町まで三か所を移ってきた。今度、牛山町に独立した建物を建設することになると知り、大変喜んでいる。皆さんの二〇年間の努力によって新たな発展が来年四月、実ることになり、この新しい建物が地域での活躍の場になるよう、努めていきたいと思っている。

第二四回通常総代会に寄せて温かいメッセージをいただきました。

○生活協同組合コープあいち
○日本労働者協同組合連合会
○日本労働者協同組合連合会センター事業団
○日本労働者協同組合連合会センター事業団
　東海事業本部
○ささえあいコミュニティ生活協同組合新潟
○山形県高齢者福祉生活協同組合
○岩手県高齢者福祉生活協同組合
○宮城県高齢者生活協同組合
○生活協同組合・東京高齢協
○神奈川高齢者生活協同組合
○長野県高齢者生活協同組合
○大阪高齢者生活協同組合
○兵庫県高齢者生活協同組合
○岡山県高齢者福祉生活協同組合
○香川県高齢者生活協同組合
○福岡県高齢者福祉生活協同組合
○生活協同組合・沖縄県高齢者協同組合
○地域と協同の研究センター

皆様、ありがとうございました。

永年勤続表彰 おめでとうございます

永年勤続の職員に感謝！
今年は１２名の対象者が表彰されましたので紹介します。

★二〇年以上勤務（一名）
【春日井ぬくもり】穂積　邦子

★一〇年以上勤務（一名）
【守山あまこだ】中村　勝子

★五年以上勤務（一二名）
【本部事務局】三原　欣子
【春日井ぬくもり】西森　夏代・赤川　純子
【守山あまこだ】森下　由貴子・岩田　真奈美・水谷　三枝子・辻　アヤ子・山下　みわ子・徳山　芳子
【岡崎かけはし】杉浦　静香・高村　江津子・生駒　敏実
（以上、敬称略）
※該当者には記念品が贈呈されました。

当日は二〇年勤続の穂積さん（写真）が代表であいさつの言葉を。「知らない間に二〇年経っていました。初めはヘルパーの資格もなかったので、やはり組合ということで自分のできることとして組合員と利用者の獲得に走り回りました。私の拠点は小牧市だったので（サービス提供地域が春日井市にあるぬくもりでは）利用者はなかなか集まらなかったけど、それでも二名の加入をいただき、親しい人にも四名の方に組合員になってもらいました。」と、急なコメント依頼にも、組合員としての心得ともいえるお話でした。

これを励みに、これからも高齢者生協で一緒に力を合わせていきましょう。

★新役員体制に伴い、新しく理事になった抱負をひとこと、どうぞ！

在宅支援センターまったり　ケアマネージャー／河村啓一郎さん

前理事の花木さんが中心となって作り上げられたまったりの事業所を、職員全員で協力してこれからも地域に貢献できる事業所としていきたいと思います。

初めて理事を務めさせていただくことになりましたが、先輩理事の皆様にご指導いただきながら、ご迷惑をかける事のないよう頑張っていきたいと思います。

●新役員体制（任期　二年）

役員改選にて左記の通り選任されました。

理事長　長谷川 勝彦
副理事長　岡田 祐成
専務理事　藤井 克子
常任理事　山崎 亜土
理事　秋野 昌子（守山区）
理事　岩田 順子（守山あまこだ）
理事　上江洲 恵子（ほみ）
理事【新】河村 啓一郎（一宮まったり）
理事　杉浦 明子（岡崎かけはし）
理事　辻 美枝子（春日井ぬくもり）
理事　長江 新子（守山あまこだ）
理事　野中 喜代子（本部事務局）
理事　野呂 洋子（岡崎かけはし）
理事　久田 洋子（北区）
理事　平岡 ヒロ子（北区）
理事　余語 恵美子（春日井ぬくもり）
監事　加藤 司
監事【新】花木 道雄
監事　坂東 隆（員外）

※【新】は新任
よろしくお願いいたします。

「みんなの家ぬくもり・支える会」について宣伝します！

春日井市小規模多機能型居宅介護事業開設に向けて、高齢者生協の中では新しい動きが生まれました。それが、「みんなの家ぬくもり・支える会」。

そもそも春日井市の選定事業になるということは、同時に一定のスケジュールのもとに進めなければならない条件も伴うことから、実際に移行にかかわる現場の職員の肩にかかる負担も想像以上だろう、ということで理事会の中から発足し、活動を開始しています。

具体的には、建設事業以外の分野で例えば地域との連携を作るためにさまざまな団体や法人、地方議員に声をかけたり、地域の理解を進める広報活動が必要です。

現場の職員は日々の多忙な業務に携わりながら、新規事業の勉強会を開いたり、必要な体制を整える準備もあります。そんな中、広報や地域連携にかかわる余裕はほとんどありません。ということで、外側から楽しく支援していこう、と考えています。

ぬくもり地域交流室での支える会の様子

地図を大きく広げて地域のイメージをつかみました

ぬくもり職員の勉強会の様子

すでに六月一八日、七月二一日の二回開催しました。ただ、この会議期日にとらわれず外部の諸団体への訪問を行ったり、宣伝・配布物の準備や作成を次々しており、みんなの人脈を持ち寄って動いています。

また、支える会の活動を職員の会議にもフィードバックして、ほかにどういった運動や支援が必要か考えてもらいたいなとも思っています。いわば、少しでもみんなの家ぬくもりの縁の下の力持ちになれたらいい、という会です。

支える会は理事会からは独立しており、ここで協議したことは議事録にして各事業所と共有し、活動をできるだけ透明化することで、ほかの事業所の職員とも連携できることを目指していきます。

そこで出た企画や情報を、ぬくもりの職員に伝えて、双方向に意思確認し、目指す方向が大きくずれないようにしていきたいと思っています。

今後も「みんなの家ぬくもり・支える会」の発信を続けてまいりますので、組合員の皆様には引き続きご理解ご協力をいただけますようお願い申し上げます。

活動報告

みんなの家ぬくもり★

春日井市選定事業の工事業者を一般競争入札で決定する入札会場(中区へいわ会館4階)

建設業者の一般競争入札が執り行われたものの、思わぬことが・・。

春日井市選定事業として建通新聞に公告され、長谷川理事長、藤井専務理事、山崎常務理事、坂東監事、春日井市と中央設計の担当者立会いの下、七月二八日午前一〇時より入札説明会を開始しました。期日までに建設工事の入札申込書を提出した建設会社のうち、当日は三社が応札に参加し、つつがなく入札されました。

通常ならその場で落札者が決定するところですが、なんと二社の入札価格が、基準価格よりも下回るという事態に…。想定外のことに、設計会社によって業者提示の内容を一旦、再調査した上で決定することになりました。

次の「たより」では、すでに着工していることと思いますが、いろんなことが起きるものです。

新人研修を開催しました

七月一七日(金)午後一時三〇分より、二〇年度の新人研修を開催しました。今回は四名の参加となりました。参加者の皆さんからは「生活協同組合の歴史を知ることができた。」「平等に誰でも発言できることが高齢協の良さとわかったので、自分なりの考えを持つことを大切にしたい。」「出資、経営という言葉が身近になり、多面的で面白いと感じた。」「透明性ある活動には将来性を感じる。」など、高齢者生協の活動に前向きな興味を感じてもらえている感想が多く、心強くなります。

まだまだ短い時間ではつかみきれないことも多いと思いますが、これから愛知高齢協をけん引していく力になってくださいね。

出席者はぬくもり・野倉さん、あまこだ・内山さん、かけはし・中原さん、高橋さんの4名でした。

かんたん料理

甘酒桃シャーベット

材　料

桃…1個
甘酒…大さじ4
牛乳100ml

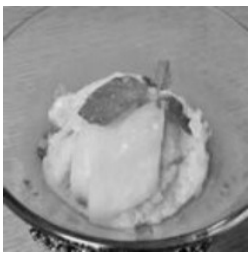
作り方

1．桃を種から外し、適当な大きさに切ります。

2．ボールにレモン水（分量外）を作り、切った桃をくぐらせます。（黒くなるのを防ぎます）

3．ミキサーに材料を入れてかく拌します。この時に、多少果肉を残すと、食べた時に食感が楽しめます。

4．容器に入れて冷凍庫で冷やします。途中、冷凍庫から出して　混ぜます。



ブログやインスタ活用してま～す★

みなさんは、愛知高齢協のホームページはご覧になったことはありますか？そのトップページに並ぶ各事業所のページやブログ。クリックするとデイサービスや訪問先などでのほのぼのとした写真を事業所スタッフが楽しく投稿しています。最近はやりのインスタグラムにもチャレンジし始めた事業所もあるんですよ。

みにくいですが、左上からあまこだ便り、右上　ほみケアブログ、左下　ぬくぬくもり、右下　虹色かけはしの、ブログのヘッダー画像

ちなみに今、日本でのインスタグラムの利用者は３千３百万人を超えるといわれています。「インスタ映え」という用語もあるほど目に訴えるインスタグラム。一度覗いてみませんか？

おいしそうなランチやデザートを投稿したり、楽しい動画を投稿しているかけはしのインスタグラム。フォロワーも8月初旬時点で５60人を超えています。

新型コロナ Covid-19

新型コロナウイルスは、ますます広がりを見せています。

医療、介護、保育や食料、公共交通、そして治安など、人の生命や財産に直接かかわる仕事をしている人達は「エッセンシャルワーカー」と呼ばれ、社会の中で必要不可欠な分野とされています。もしこの分野で大規模に感染がひろがったら、市民生活に大きな支障をきたします。

政府は様々な施策を打ち出しはしますが、その経緯が不透明であったり、現場は焼け石に水。改革の名のもとその実は、長年にわたる保健・医療の縮小と社会保障制度の削減を続けた結果がこれ。医療資材の調達もままならない状況が全国で頻発しています。

感染収束の見通しが立つのは、いつになるのでしょう。

訪問介護 接触に苦悩

利用者もヘルパーも不安

ケアと予防 手探り

コロナ

集団感染防止へ対策

食事などにサービス限定

職員を少人数グループに

春日井ぬくもりのヘルパー辻美枝子さんも毎日新聞の取材を受けて、苦しい現状を吐露しました。「職員の安全を確保しなければ、利用者も守れない。」

愛知県高齢者生活協同組合＊２０２０年度日程

9月1日～12月31日　組合員拡大強化月間
9月17日　第3回みんなの家ぬくもり・支える会
9月9～11日　新潟高齢協ささえあいゆう見学研修
9月18日　連合会「事業推進会議」
10月10日　ぬくもり感謝祭＆秋祭り
10月17日　第2回理事会、事業所運営会議
11月28～29日　労協連「仕事起こし名人サミット」
12月18日　連合会「よい仕事研究交流集会」
1月18日　愛知ケアワーカー集会
2月27～28日　労協連「全国よい仕事研究交流集会」
3月28日　地域福祉事業所代表者会議
4月1日　小多機みんなの家ぬくもり開所
※いずれも感染症の状況により変更の可能性あり

※以下、詳細日程が未定のもの
8月上旬頃 【春日井みんなの家ぬくもり工事着工前の地鎮祭を執り行う予定】
11月　春日井初任者研修開講
2月　みんなの家ぬくもり　建物引き渡し
3月　みんなの家ぬくもり　備品搬入・開所式